



第1036号
2007年5月20日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

5月の代祷・信施奉献先
葛飾学園(サンピエール・保育園)のため 名古屋学生青年センターのため カパティランの働きのため アジア・エキユメニカル週間(5月20日~27日)
《奉献先から》
アジア・エキユメニカル週間
毎年ペンテコステの1週前の日曜=アジア祈禱日を中心に始まる1週間。アジア16ヶ国に広がっている1000のキリスト教諸教派で作られているアジアキリスト教協議会(CCA)が、毎年この祈禱日のために式文を準備し、教派を越えて共に祈ることを呼びかけている。CCAは今年創立50周年という節目の年を迎え、「私たちの共同の宣教と証しを確認する」という設立の

今週・来週の予定

5月20日~6月2日

- 20(日) 復活節第7主日・昇天後主日
主教巡回 聖愛教会
外濠G教会協(目白)
環状G教会協(聖マルチン)
多摩G教会協(小金井)
教区合同堅信式(主教座)
- 22(火) 銀座朝禱会
- 23(水) 山手G牧師協
(聖マーガレット)
- 24(木) 正義と平和協:運営委員会
- 25(金) 主教座聖堂活動委員会
信仰と生活委員会
教財務サービス委員会
- 26(土) S S 連絡会研修会
(聖バルナバ)
- 27(日) 聖霊降臨日
主教巡回 聖オルバン教会
城南G教会協(三光)
下町G教会協(聖救主)
山手G教会協
(聖マーガレット)
- 28(月) 聖職養成委:教役者研修会
(箱根・~30日)
- 30(水) フェスティバル実行委員会
6月
1(金) 教区企画室

精神を引き継ぐテーマにしている。今年のアジア祈禱日の献金は、CCAのプロگرام強化のために、また神学者養成奨学金、特にカンボジア、ラオス、ベトナム、ネパール、東チモールなどでのエキユメニカル神学教育センターを設立するために用いられる。

精神を引き継ぐテーマにしている。今年のアジア祈禱日の献金は、CCAのプログラム強化のために、また神学者養成奨学金、特にカンボジア、ラオス、ベトナム、ネパール、東チモールなどでのエキユメニカル神学教育センターを設立するために用いられる。

池袋(11時)・聖マルコ(12時)・
聖マルチン(12時) 6月3日= 教会バザー 5月27日= 聖ニル(礼拝後)・聖マリア(12時)・
5月26日(土) 14時 演奏= オルガン佐藤礼子&ソプラノ高柳章江。入場無料(会場献金)。

神田キリスト教会 死者と残された者のためのレクイエム」
5月26日(土) 14時 演奏= オルガン佐藤礼子&ソプラノ高柳章江。入場無料(会場献金)。

掲載記事の転用可(事前連絡要)

ここに、三年、教会学校の沈滞化が目に見えてきた。子どもが教会に来ない。近所の小公園もほぼ同然である。若い頃から、私は教会学校に関心を寄せてきた。そうでありながら、その原因の一つに気が付かされたのは、
《恵みに生かされて》

教会と子どもたち

司祭 吉野 秀 幸

残念ながら、ひと頃、新聞を賑わした子どもに危害を及ぼす者」の影に脅えて

息、どういふ訳かそのことに話が及んだ。ある婦人の言葉によれば、一言で言うと、学校もコミュニティも子ども一人歩きに関して極めて慎重だということである。まず、学校は裏門を締めっ放しであり、正門の方は警備員がはりついている。登下校時には学校と家庭が密に連絡を取り合っている。そ

どもに危害を及ぼす者」の影に脅えてということではないか。そのような風潮に地域差があるにしても、私どもは子どもを親が連れてきて、親と一緒に礼拝し、親と共に帰宅する礼拝を考慮せざるをえなくなっている。

(聖愛教会牧師)

常置委員会報告(5月8日)報告・協議事項から。

* 信徒奉事者認可および分餐許可書を当該教会へ発行した。

* 教区会第103(定期)議事録および第104(定期)議事録を精査した。

* 北沢住宅の外部塗装実施、4月収支、教区フェスティバル準備状況などの各主事報告を了解した。

* 聖パトリック教会銀行借入完済資金の融資申入れを承認。

* 月島聖公会将来計画検討特別委員会委員候補を前回につき追加推薦した。

* その他

聖公会神学院、女性神学セミナー・第17期「聖書の「和

解」を読み直す 5月22日・6月12日・7月17日：8月を除く11月まで計6回、毎火曜日19時～20時30分。うち6月は公開講座(今回の学びを深めるために「挽地茂男専任教員」で、1回のみ聴講も可。各回千円。事前申込制。照会・申込み電話「03(3710)0575。

滝乃川学園本館チャリティー愛の泉コンサート)創立者石井筆子愛用「天使のピアノ」復元オルガンと共に、5月27日(日)14時、本館講堂。入場料2千円。照会先電話「042(572)1228。

教区聖職養成委員会主催による教役者宿泊研修会 5月28日(月)～30日(水)、富士箱根ランド・スコレプラザホテ

ル。テーマは「教会の使命と聖職の務め」で基調講演には森一弘司教(ローマカトリック教会前東京教区補佐司教)が招かれている。聖職者による発題や聖書研究などを含めた計5セッションの日程。約20人の参加が予定されている。

教区礼拝音楽委員会主催《シリーズ・音楽を学ぶ》第1回「礼拝音楽の今」 6月4日(月)18時30分～20時30分(講演)、21時(コンプリング)、聖オルバン教会。講師「ジョン・ハーパー教授(英国・王立教会音楽学校総裁他)、通訳付き。会費「千五百円。申込みは清瀬聖母教会宛、5月31日締め。照会電話「042(493)7472・宮崎光司祭。

【学びと働きから】43

城南教会グループ 聖歌フェスティバル

2000年から1年ないし1年半に1回、開催して、今回6回目を迎えました。奉唱はテーマに従い、各教会や香蘭の聖歌隊、常設聖歌隊を持たない教会の合同聖歌隊、両方を合わせたフェスティバル・クワイヤ、ゲスト、会衆全員。この組み合わせまたは一部の構成です。講師を招き学びの時を持つこともありました。プログラムや楽譜は、常に英語またはローマ字でも用意します。

今回4月に行われた、新しい聖歌集を歌おう&タの礼拝は、ゆりかごからみ国までは、

新聖歌集の06年秋発行予定というニュースを受け、05年のうちから年度の枠を超えて計画されました。前半は大畑喜道司祭進行のもと、腹話術の人形のトミーとマーガレットのお話。彼らの生涯を287番(聖婚式)、423番(命どう宝)平和への思い、457番、主に従い行くはなど、新旧の聖歌でつづり、最後は510番でトミーをみ国へ送って全17曲でした。後半は短い練習の後、歌による夕の礼拝を捧げて会を閉じました。

城南グループの発信するメッセージの一つとして、機会に恵まれば今後も皆さまと賛美の声を共にできたらと思います。

実行委員会 斉藤響子
(大森聖アグネス教会信徒)

《今、この教会では》

三光教会
昨年12月当教会もようやく以前のホームページを公開した。

そこで今さらながらこの「ホームページ」がどのように教会に役に立つかを考えると、クリスマスのような大きな礼拝の案内はもちろんのこと、世界中にいらつしやる当教会に縁がある方々への近況報告、そして教会に関心を持つ方への情報発信が挙げられる。一方で、毎年ばかにならない経費を要している通信費の削減に貢献してくれば言うことはない。

ご多分にもれず、当教会も厳しい財政難。入りを増やして、出するを減らす「役に立つこと」を願っている。(藤田新一郎)